

(活動報告書様式)

助成事業実施 団体名	寺子屋子ども大学		
実施事業名	福島原発災害による避難児童と山形県民の交流およびカウンセリング受付事業		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業（一般型）【県政課題名：】 協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ名：】 団体支援助成事業		
団体の所在 市町村名	山形市	事業費及び 助成額	事業費 546,802円 助成額 500,000円



### ■ 事業の目的

東日本大震災後5年が経過し、本県への避難者はそれぞれの生活を送っていますが、なお深刻な相談も寄せられています。本事業では、山形大学の教員等が、県内の生徒をも対象にして多様な分野の特別授業を行う事で、避難世帯が山形県で安心して生活になじめるようにし、子ども家庭課が派遣している臨床心理士と連携して、避難世帯の相談に乗る事業を実施します。また、大石田町との共同川下り企画において、過疎地域の振興を目指します。

### ■ 実施内容

- ①6月5日開催「楽しい理科実験教室」山形大学小白川キャンパス 参加者41名
- ②7月24日開催「トムソーヤの冒険 in 最上川」  
～ゴムボートに乗って最上川を下ってみよう～ 大石田町 参加者20名
- ③8月28日開催「トムソーヤの冒険 in 最上川」代替企画～竹笛作り～大石田町 参加者19名
- ④9月24日開催「いろいろな武道を楽しもう」山形大学小白川キャンパス 参加者23名

### ■事業の成果及び今後の展望

引き続き、避難世帯の就学環境に対しての支援を続けるとともに、大学教員が提供する教育というテーマを通じて、子ども達の学びの基礎作りに取り組んでいきます。また、過疎地域との連携を組んだ取り組みにより、子ども達に郷土の魅力を伝えていきます。

◆活動の様子はホームページ「松尾研究室へようこそ」をご覧ください。